

平成28(2016)年度 私たちの村の予算

～村民との協働のむらづくりを目指して～



平成27年6月13日(土)・14日(日)
「第10回 佐井村うに祭り」の様子

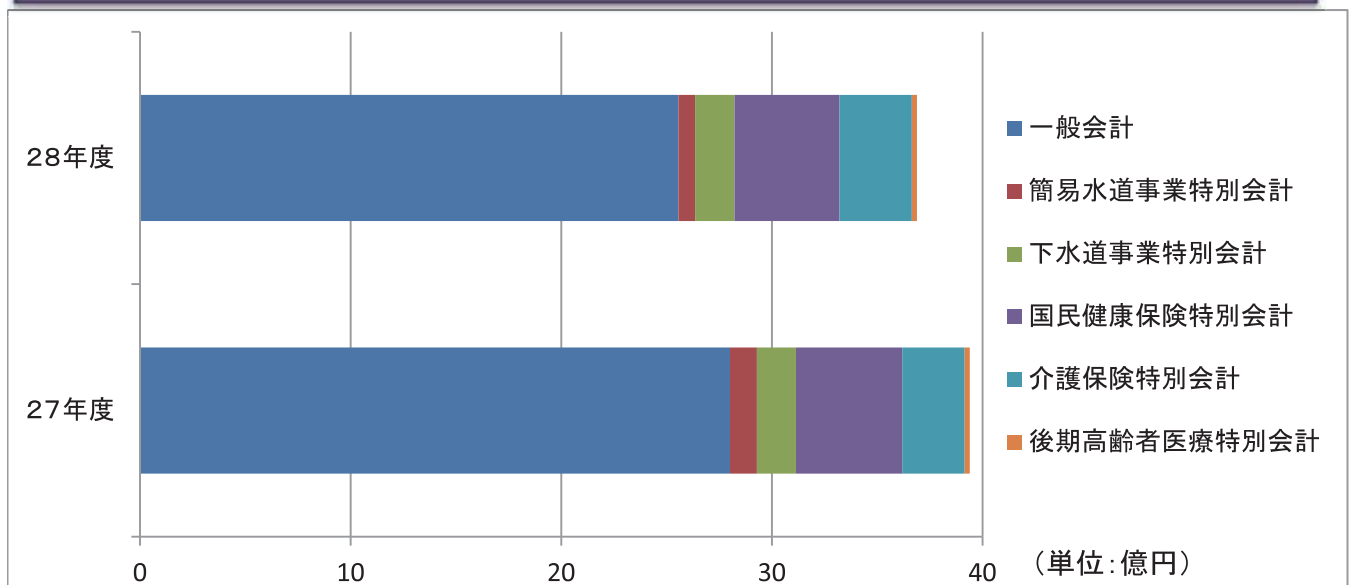
佐 井 村

データで見る佐井村の予算(財政規模と一般会計の内訳)

平成28年度の佐井村の当初予算(一般会計と特別会計)は前年度に比べ、2億5,080万8千円の減額となる36億8,838万7千円になりました。

うち、一般会計は2億4,393万7千円の減額で、これは水産振興基金貸付金(2億5,000万円)の減額が影響したものでありますが、引き続き、産業の振興や地域経済の活性化をはじめとする地方創生に向けた取り組みを進めるとともに、健全な財政運営に取り組んで参りますので、村民の皆さんの益々のご理解・ご協力をお願い致します。

予算総額 36億8,838万7千円(△2億5,080万8千円 6.4%減)



区 分		平成28年度予算額	平成27年度予算額	増減額
一 般 会 計		25億5,678万5千円	28億 72万2千円	△2億4,393万7千円
特 別 会 計	簡易水道事業特別会計	7,956万6千円	1億2,805万3千円	△4,848万7千円
	下水道事業特別会計	1億8,642万3千円	1億8,614万0千円	+28万3千円
	国民健康保険特別会計	4億9,875万8千円	5億 431万9千円	△556万1千円
	介護保険特別会計	3億4,278万6千円	2億9,647万0千円	+4,631万6千円
	後期高齢者医療特別会計	2,406万9千円	2,349万1千円	+57万8千円
合 計		36億8,838万7千円	39億3,919万5千円	△2億5,080万8千円

※ 「一般会計」は、福祉や教育などの基本的な行政サービスを行うための会計です。
 一方、「特別会計」は、介護保険や国民健康保険などの特定の事業を行うための会計で、法律や条例に基づいて設置しています。

歳入



依存財源

- 交付金など(2.0%)
国に治めた税金の一部が一定のルールで交付されます。
- 村債(3.6%)
建設工事など金額の大きな事業を行うときに借入します。
- 国・県支出金(17.8%)
国や県から特定の事業に対して交付される補助金などです。
- 地方交付税(52.5%)
標準的な村の財政規模を定め、不足するお金が国から交付されます。

自主財源

- 使用料及び手数料など(1.8%)
ごみ処理手数料や村有財産の使用料などです。
- 諸収入(2.7%)
各種貸付金の返還金や様々な事業の実費負担などです。
- 村税(6.1%)
村民税や固定資産税などです。
- 繰入金(13.5%)
不足するお金を基金(貯金)で補います。

歳出



- その他(15.0%)
議会費、商工費、土木費、労働費、災害復旧費などです。
- 農林水産業費(5.5%)
各種農林水産業振興費、漁港整備費などです。
- 教育費(7.6%)
各小中学校の管理、奨学金貸付金などです。
- 消防費(10.3%)
消防車両の整備、広域事務組合への負担金などです。
- 公債費(12.1%)
村債(=借金)の返済です。
- 民生費(15.9%)
福祉事業、保育所運営費などです。
- 総務費(16.2%)
公共施設管理、電算処理費などです。
- 衛生費(17.4%)
ごみ処理、健康づくり、簡易水道・下水道事業繰出金などです。

データで見る佐井村の予算(特別会計の予算)

村には、一般会計の他に、特別会計があります。

特別会計は、簡易水道や下水道、国民健康保険などの特定の事業を行うために、財布を別にしてお金の出し入れをはっきりさせるもので、次の5つの特別会計があります。

簡易水道事業特別会計

住民の日常生活に欠くことのできない水道について、4地区（佐井、長後、福浦、牛滝）の簡易水道施設の適正な維持管理を行い、安定した飲料水の供給に努めます。

歳入	7,957万円	歳出	7,957万円
◆水道使用料等	4,364万円	◆施設の維持管理費等	3,177万円
◆国や県などからの補助金	220万円	◆借入金の返済(公債費)	4,760万円
◆一般会計からの繰入金	3,193万円	◆その他	20万円
◆借入金(村債)	180万円		

下水道事業特別会計

生活雑排水などの河川、海などへの流入による水質悪化を防ぎ、衛生的な住環境、水洗化による清潔で快適な生活スタイルを進め、美しく豊かな自然を守り、潤いある快適な生活を創造するため、下水道施設の維持管理（5施設）に努めます。

歳入	1億8,642万円	歳出	1億8,642万円
◆下水道使用料等	1,315万円	◆施設の維持管理費等	5,432万円
◆国や県などからの補助金	330万円	◆借入金の返済(公債費)	1億3,170万円
◆一般会計からの繰入金	1億2,367万円	◆その他	40万円
◆借入金(村債)	4,630万円		

国民健康保険特別会計

村を保険者とする国民健康保険の運営（国民健康保険に加入している被保険者（健康保険・船員保険・公務員共済などの職域保険に加入している者を除く）に対する国民健康保険税の収納や保険給付など）に努めます。

歳入	4億9,876万円	歳出	4億9,876万円
◆国民健康保険税	7,837万円	◆保険給付費	2億8,522万円
◆国や県などからの補助金	3億8,408万円	◆後期高齢者支援金等	5,413万円
◆一般会計からの繰入金	3,624万円	◆介護納付金	2,405万円
◆その他	7万円	◆共同事業拠出金	1億1,120万円
		◆保険事業費	602万円
		◆その他	1,814万円

介護保険特別会計

村を保険者とする介護保険の運営（65歳以上のすべての方を被保険者とする介護保険料の収納や、60歳以上65歳未満で一定の障がいをもつ方を含む被保険者で介護が必要となり介護認定を受けた方への介護給付など）に努めます。

歳入		歳出	
3億4,279万円		3億4,279万円	
◆介護保険料	4,353万円	◆保険給付費	3億2,763万円
◆国や県などからの補助金	1億3,951万円	◆地域支援事業費	665万円
◆支払基金交付金	9,521万円	◆その他	851万円
◆一般会計からの繰入金	4,904万円		
◆その他	1,550万円		

後期高齢者医療特別会計

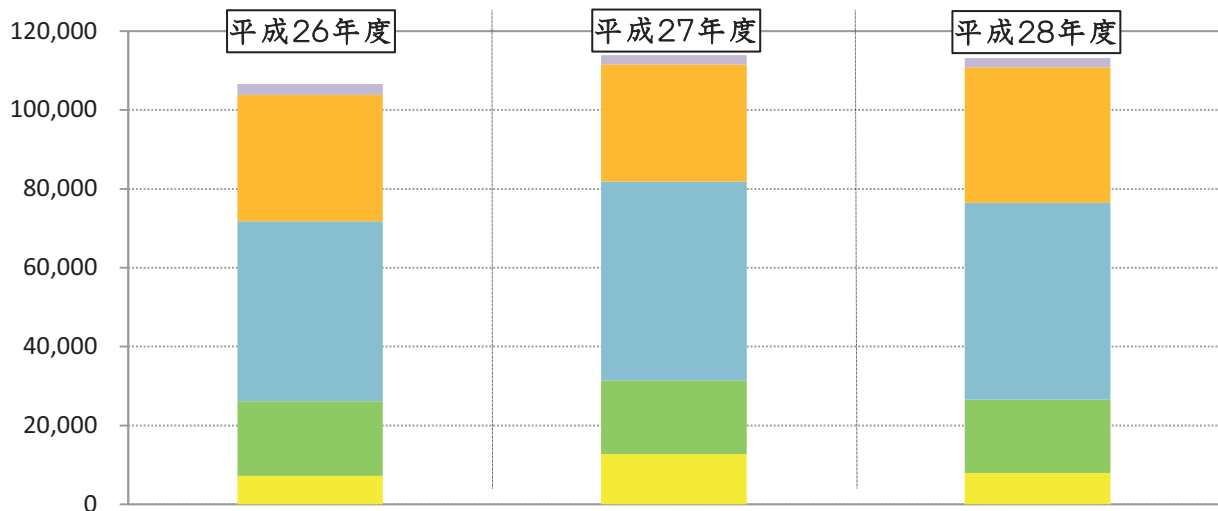
後期高齢者医療制度の運営（75歳以上のすべての方と65歳以上75歳未満で一定の障がいをもつ方を被保険者とする保険料の収納など）に努めます。

運営は、県内40市町村すべてが加入する青森県後期高齢者医療広域連合が行っています。

歳入		歳出	
2,407万円		2,407万円	
◆後期高齢者医療保険料	1,236万円	◆広域連合納付金	2,269万円
◆一般会計からの繰入金	1,112万円	◆その他	138万円
◆その他	59万円		

過去3年間の特別会計予算額の推移

(単位:万円)



年度	後期	介護	国保	下水	簡水	合計
平成26年度	2,738万円	3億2,097万円	4億5,577万円	1億8,865万円	7,296万円	10億6,573万円
平成27年度	2,349万円	2億9,647万円	5億4,432万円	1億8,614万円	1億2,805万円	11億3,847万円
平成28年度	2,407万円	3億4,279万円	4億9,876万円	1億8,642万円	7,957万円	11億3,161万円

28年度に実施する主な事業(一般会計)

議会費

4,901万円

- 議会だよりの発行 21万円
- 村議会議員(8人)への報酬・手当など 3,135万円

総務費

4億1,384万円

村有財産の管理

- 各地区集会施設の指定管理委託 168万円
- 津軽海峡文化館(アルサス)指定管理委託 2,063万円
- 津軽海峡文化館(アルサス)改修事業 88万円
事業に係る概略調査設計業務を委託します。

交通対策

補助金名	交付先	補助額
佐井管内生活路線維持費補助金	下北交通株式会社	52万円
福祉・過疎地有償運送事業運営費補助金	佐井村社会福祉協議会	725万円
離島航路運行維持事業費補助金	シィライン株式会社	1,000万円

広報広聴活動の推進

- 広報「さい」の発行 90万円

コミュニティー活動の推進

交付先	補助額
行政連絡員及び補助員への報酬	156万円
地区会・町内会への補助金	139万円

地域情報通信関連事業

- 地域情報通信(ICT)の活用、維持・管理 1,393万円
光ファイバ網を活用した告知端末および小型画像情報端末機の利活用の検討や維持管理を行います。

村税の徴収率の向上

- 納税組合に対する報償金 93万円
- 納税貯蓄組合連合会運営補助金 20万円
村税の徴収率向上のため、各納税組合の徴収額などに応じて、報償金の支払いを行います。
また、納税に関する理解の醸成及び会の活動経費に対する補助を行います。



(定例議会)

選挙事業

- 各種選挙関連事業 643万円
参議院議員選挙及び選挙管理委員会業務に要する経費です。

むらづくり基本条例関連事業

- 住民提案型支援事業補助金 200万円
上限20万円の補助を10団体に対して行います。

企画関連事業の推進

- あおい環プロジェクト事業 1,292万円
Sai ツーリズム構築推進事業や、地域づくり活動・ゆるキャラ「雲丹〜うんたん〜」などを活用した戦略的展開を進め、地域の活性化を図ります。
- 佐井村「新しい販路」開拓事業 734万円
新たな商品開発・異業種と連携した商品販売を進めるとともに活〆神経抜きをした魚の販路拡大と市場での評価向上を図ります。
- 長崎大学水産学部交流連携事業 219万円
同大水産学部へ研修生の派遣、出前講座の開催などを通じて学術的な知見の習得を図ります。
また、最新の技術を取り入れた漁法などについての共同調査を行います。

- アルサス周辺賑わい創出事業 502万円
観光拠点として仏ヶ浦観光や青森一佐井間を走る高速艇「ポーラスター」の船便の発着地となっている津軽海峡文化館「アルサス」周辺の賑わいを創出するための事業に係る調査を行います。

- 漁師縁組事業 1,510万円
村の基幹産業である漁業の担い手不足を解消し存続させるため、村外から村に定住し漁師になる方を募集し、準備資金の給付及び漁業現場で漁業経験者の下、漁業に必要な技術・技能を学び、漁業への就業と定着を図ります。

- 地域資源活用創業支援事業 344万円

- 美しい村づくり関連経費 61万円

民生費

4億 564万円

施設の管理運営

○社会福祉法人が行う事業

(社会福祉協議会運営補助金) 2,219万円
法人運営のための事務的な経費を補助します。

○高齢者生活福祉センター管理運営委託

1,084万円

指定管理者制度の導入により「あすなろ」の管理運営を社会福祉協議会へ委託します。

○高齢者生活福祉センター改修工事

5,597万円

前年度に調査設計した内容に基づいて改修工事を行います。主にキュービクル(高圧受電設備)の交換や照明設備およびカーペットや浴室床タイルの破損等を補修します。



(高齢者生活福祉センター 全景)

衛生費

4億4,400万円

保健対策の充実

○患者輸送事業 1,123万円

大間病院及び川内病院までの交通手段を確保するため、患者送迎バスの運行委託を行います。

○各種予防接種の実施 989万円

○各種健(検)診事業 1,090万円

子育て支援対策の強化

事業名	給付額
乳幼児はつらつ育成事業	1,633万円
児童・生徒医療費給付事業	3,922万円

環境保全・環境衛生への取組

○佐井村斎場の運営 344万円

佐井村斎場の維持運営を指定管理者に委託します。

障がい者への福祉

○障がい者の自立支援給付費など

8,275万円

障がい者及び障がい児がその有する能力及び適性に応じ、自立した日常生活・社会生活を営むことができるよう、必要なサービスに係る給付・支援を行います。

街灯管理事業

○防犯灯(街灯)電気料及び修繕費 538万円

青少年・児童への福祉

○出産祝金支給事業 60万円

第3子以降の出産を奨励祝福し、子供たちの健全育成に資するため、出産時における経済的支援及び定住促進を図ることを目的に出産祝金(対象児1人につき20万円)を支給します。

○ひとり親家庭等への医療費助成 102万円

○児童手当の支給 1,879万円

○佐井村保育所運営事業 4,398万円

社会福祉法人吉幸会へ指定管理委託します。

好循環実現のための経済対策

○年金生活者等支援臨時福祉給付金事業

560万円

所得の低い方々への影響を緩和するために低所得者及び障害年金等の受給者に対して臨時的に給付金を支給します。

医療センター関係

○佐井歯科診療所運営費負担金 2,224万円

○福浦地区診療所運営費負担金 247万円

○牛滝地区診療所運営費負担金 125万円

ごみ・し尿の収集処理

○ごみ収集・処理事業 1億1,910万円

一般ごみの収集運搬や共同で設置している塵芥処理施設の運営負担に要する費用です。

○不燃物処理施設の管理運営事業 720万円

不燃物処理施設の適正な管理を行います。

○し尿処理事業 3,684万円

共同で設置している汚泥再処理センターの運営負担に要する経費です。


28年度に実施する主な事業(一般会計)

農林水産業費 1億4,126万円

農業の振興

- 原田集落中山間地域等直接支払制度事業 100万円
生産条件の不利性を補うため、農地の斜度に応じて交付金を交付する制度です。
- 中山間地域総合整備事業 334万円
下北北部地区にまたがる広域的地域を対象とした整備事業に取り組むための、現地調査に要する経費です。
- 農村地域防災減災事業 833万円
原田地区で使用されていないため池を廃止するための工事を行います。

林業の振興

- 有害鳥獣対策 1,395万円
農作物の被害防止のために、鳥獣被害対策実施隊やモンキーDOGを活用し、サルの追いや電気柵の設置を行います。また、ニホンザル保護管理専門員によるニホンザル捕獲を実施します。

(農作物を食べるサル)
- フォーレストパーク管理事業 417万円

商工費 9,868万円

商工業の振興

- 共通商品券発行事業費補助金 120万円
プレミアム付き商品券発行事業を今年度も実施します。
- 商工会育成及びイベント補助金 260万円
- 未来を変える挑戦資金に係る保証金 19万円
創業や雇用の創出など、前向きな取り組みを行う中小企業を支援する特別保証融資制度で、この制度を利用する方への信用保証料を補助します。

観光の振興

- 観光案内業務委託 281万円
観光案内業務を佐井村観光協会へ委託します。
- 仏ヶ浦管理運営事業 318万円
仏ヶ浦の案内や清掃並びに施設の維持に要する経費です。

- 森林環境保全整備事業 389万円
造林補助金を活用し、分収造林の整備を図るほか、平成24～26年度の人工造林の下刈り作業を行います。

- 森林整備活動支援交付金事業 201万円
森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林計画に基づき、計画の設定を受けた森林所有者が行う森林整備地域計画を支援します。

畜産の振興

- 公共牧場管理委託 67万円
- 家畜導入事業 60万円

水産基盤の整備

- 水産物供給基盤機能保全事業 3,614万円
青森県が行う牛滝漁港の機能保全事業に対しての負担金の他、村が管理する原田・矢越・長後・福浦の4漁港についても調査設計を行い、施設の長寿命化を図るための計画を策定します。

水産業の振興

- 水産振興事業補助金 3,920万円
佐井村漁協が行う各種水産振興事業に対して補助を行います。

- 下北観光協議会負担金 285万円
下北半島の観光振興のため設立された団体で、パンフレット制作やホームページ運営、各種イベント等を行い、むつ下北の魅力を発信します。

- 町村の魅力発信事業 289万円
駅・空港などの交通ターミナル内での情報発信や当村の食材をPRするイベント「佐井村祭り」を開催します。

- 福浦の歌舞伎上演 40万円

- 願掛公園管理運営事業 271万円

- 願掛公園野営場改修事業 5,440万円



(左：宿泊棟、右：炊事場)

土木費

6,481万円

道路や橋梁の管理・整備

- 道路維持管理事業 331万円
村道の維持補修並びに併用林道の維持補修を行い、道路の維持管理に努めます。
- 橋梁長寿命化改修事業 2,683万円
現在使用している橋梁補修費のコスト削減と橋梁の延命化を図るため修繕工事を実施します。
今年度は平成橋の調査設計と縫道橋の補修工事を行います。



消防費

2億6,267万円

消防への負担金

- 広域事務組合常備消防へ 1億8,661万円
市町村共同で行っている消防分署の費用負担です。負担金には、職員の人件費も含まれています。
- 広域事務組合非常備消防へ 2,158万円
佐井村消防団のための費用を負担します。

災害対策

- 災害対策事業費 183万円
- 防災訓練費 59万円

消防施設等の整備

- 消防訓練塔改修事業 1,911万円
塩害による錆びのため消防分署敷地内にある訓練塔の改修工事を行います。
- 消火栓の更新・撤去 110万円

- 仏ヶ浦駐車帯管理業務 52万円
- 除排雪対策 681万円

急傾斜地対策

- 矢越地区急傾斜地対策事業負担金 400万円
県直営事業負担金として事業費2,000万円の20%を負担します。

港湾の整備

- 仏ヶ浦港湾改修事業負担金 625万円
港湾改修事業として防波堤の整備が進められており、県直営事業負担金として事業費5,000万円の12.5%を負担します。

河川の維持・改良

- 河川維持・改良事業 16万円

村営住宅の整備

- 村営住宅の維持管理業務 429万円
例年の維持・管理に加え、古佐井村営住宅の給水設備等の修理・ボイラー交換を行います。

- 小型動力ポンプ付積載車整備事業 3,121万円
昨年度に引き続き各分団に配置されている耐用年数の経過した小型動力ポンプ付積載車(2台)の更新を行います。



(27年度は第6分団と第8分団の2台を購入)

28年度に実施する主な事業(一般会計)

教育費

1億9,369万円

学校教育・学校施設の充実

- 佐井中学校改修事業 6,525万円
昨年度の屋内運動場(体育館)の改修工事に引き続き、屋外運動場(グラウンド)の改修工事と校舎外部改修工事のため設計委託を行います。



(上：グラウンド、下：校舎)

- 奨学金の貸付 618万円
高等学校・大学などへの進学者に対する学費等の負担軽減を図るため、奨学資金の貸付を行います。
- 外国語指導助手(ALT)の配置 461万円
小学校高学年および中学生の英語力向上のために、ALTを配置します。
- 学校活動支援事業 208万円
スクールサポーターを配置して、学校活動を側面から支援します。
- 学習支援推進事業 269万円
村で学習支援員を雇用し、きめ細かく質の高い学習指導により、個性豊かな人材形成と学力の定着を図ります。
- 各種大会派遣費の助成 100万円
小中学生の各種大会参加派遣費へ助成を行います。
- 西目屋村・佐井村交流事業 26万円
- 教師用指導書購入(各中学校) 575万円
4年毎に行われる中学校の教科書改訂に伴い、教師用指導書などを購入します。

公民館活動の充実

- 公民館活動業務 74万円
各種地区公民館活動や婦人会活動の他、成人式を開催します。

社会教育の振興

- スポーツ団体への補助 114万円
体育協会及び県民駅伝競走大会実行委員会に対してスポーツ振興費補助金を交付し、スポーツ活動の振興を図ります。

社会教育の充実

- 放課後子どもプラン事業 136万円
- 海峡ミュージアム運営事業 115万円
施設の受付案内業務を委託します。
- 三上剛太郎生家運営事業 324万円
施設の受付案内業務を委託します。
また、今年度は外壁等の塗装を行います。



(三上剛太郎生家 正面)

- 三上剛太郎生誕祭関連事業 130万円
赤十字思想普及のため、県内の児童生徒を対象に標語を募集し、標柱を制作します。標語作品の表彰と合わせ記念式典を開催する予定です。



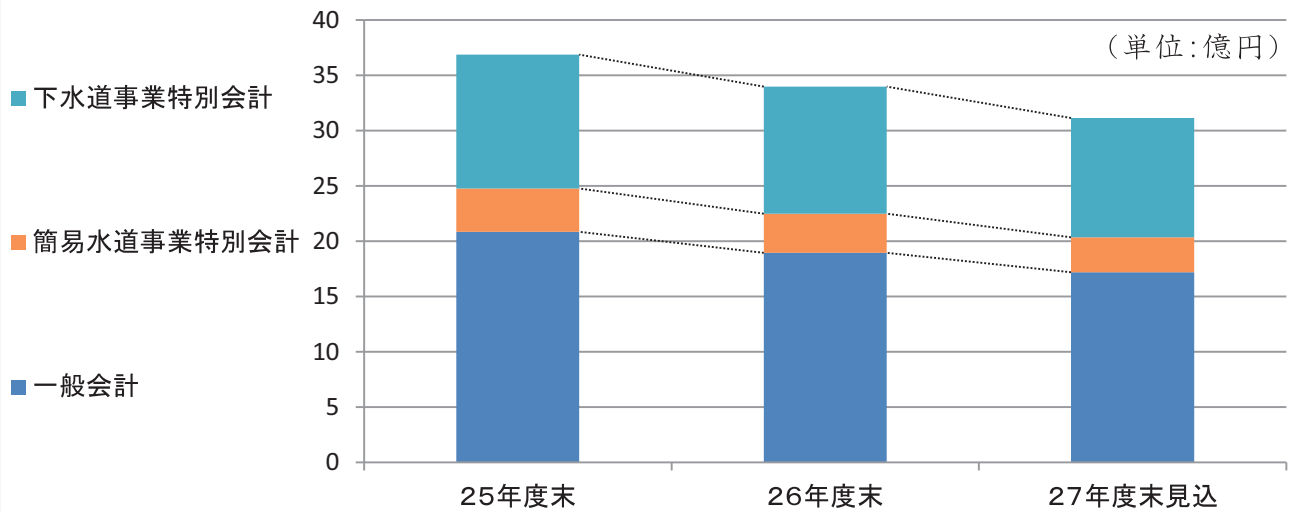
(上：昨年度行われた「赤十字の里づくり推進大会」、右：制作された標柱)



公債費(借金)と基金(貯金)の残高状況

※表示単位未満は四捨五入

借金の状況

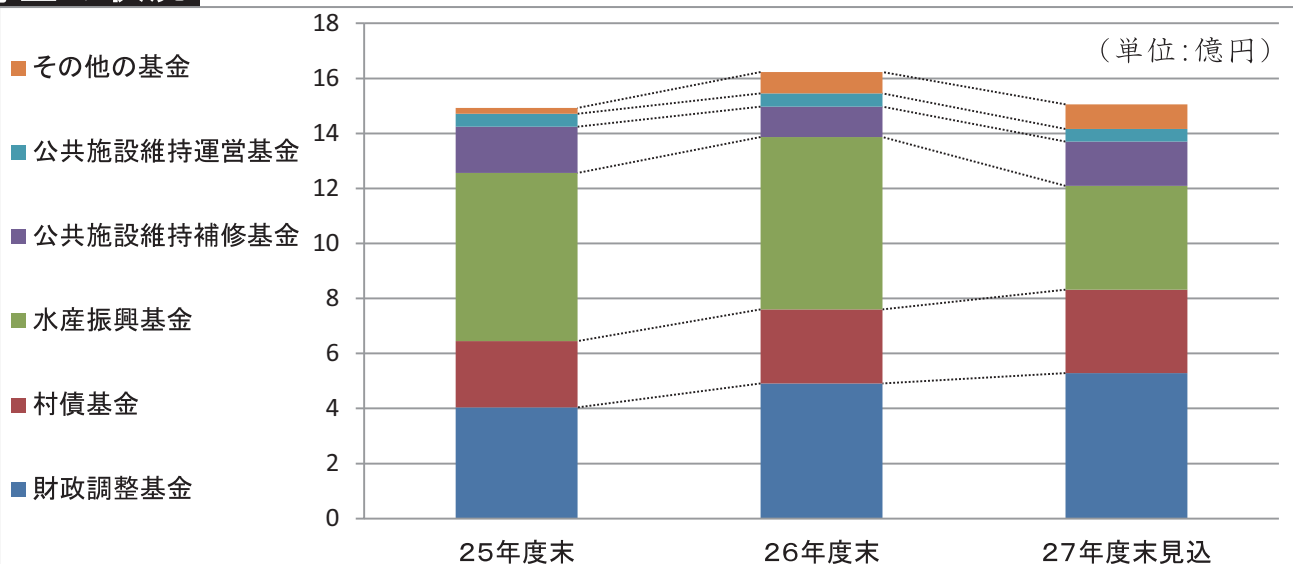


下水道事業特別会計	12億1,118万円	11億4,838万円	10億7,814万円
簡易水道事業特別会計	3億9,112万円	3億5,409万円	3億1,611万円
一般会計	20億8,486万円	18億9,318万円	17億1,878万円
合 計	36億8,716万円	33億9,565万円	31億1,303万円

平成27年度末の見込みで、一般会計をはじめすべての会計を合わせて約31億円の借入があります。借入の内訳は上の「借金の状況」のとおりですが、実際は、これに利子を加えた金額を分割払い(10～30年間)で返済していくことになります。

公共施設や下水道施設のように建設にたくさんの費用がかかり、しかも、何十年も利用されるものは、もし借金をしないとすれば、当座の資金繰りが難しいだけでなく、建設時に住んでいる住民だけが大きな負担をすることになります。そこで、一般の住宅ローンと同じように借入れを利用し、毎年少しずつ返済していくことによって、将来にわたってその施設を利用する村民の負担を分かち合うようにしています。

貯金の状況



その他の基金	2,125万円	7,825万円	8,928万円
公共施設維持運営基金	4,665万円	4,832万円	4,666万円
公共施設維持補修基金	1億6,836万円	1億1,012万円	1億6,006万円
水産振興基金	6億1,135万円	6億2,693万円	3億7,754万円
減債基金	2億4,098万円	2億6,873万円	3億3,777万円
財政調整基金	4億3,433万円	4億9,114万円	5億2,847万円
合 計	14億9,202万円	16億2,349万円	15億5,78万円

県内40市町村のデータ・ランキング(平成26年度)

順位	市町村名	財政力指数	前年度順位	市町村名	実質公債費比率	前年度順位	市町村名	経常収支比率	前年度順位
1	六ヶ所村	1.634	1	六ヶ所村	4.8	1	六ヶ所村	70.7	1
2	東通村	0.912	2	蓬田村	5.6	4	平内町	78.3	3
3	八戸市	0.648	3	野辺地町	6.5	3	蓬田村	79.8	4
4	青森市	0.530	4	横浜町	6.6	2	東通村	80.5	6
5	弘前市	0.464	5	新郷村	8.6	7	新郷村	80.8	2
6	三沢市	0.457	6	七戸町	8.8	5	藤崎町	82.8	13
7	おいらせ町	0.446	7	弘前市	9.1	6	南部町	83.3	7
8	十和田市	0.394	8	平内町	10.7	8	五戸町	84.3	8
9	むつ市	0.376	9	田子町	10.9	9	板柳町	85.5	5
10	野辺地町	0.371	10	西目屋村	11.4	12	つがる市	86.0	10
11	六戸町	0.328	11	東北町	11.5	11	東北町	86.3	12
12	黒石市	0.323	12	板柳町	11.9	14	西目屋村	87.3	11
13	五所川原市	0.322	13	大間町	12.1	10	横浜町	87.4	9
14	七戸町	0.318	15	南部町	12.1	16	佐井村	87.9	19
15	階上町	0.318	14	十和田市	12.2	13	三戸町	89.0	16
16	東北町	0.274	16	三沢市	12.3	19	大鰐町	89.2	14
17	五戸町	0.269	18	六戸町	12.4	15	六戸町	89.3	15
18	大間町	0.268	17	中泊町	12.6	22	中泊町	89.4	25
19	平川市	0.263	19	鶴田町	13.1	17	風間浦村	89.6	24
20	藤崎町	0.263	20	階上町	13.1	23	八戸市	89.7	20
21	南部町	0.261	21	八戸市	13.2	24	平川市	90.1	17
22	田舎館村	0.255	22	つがる市	13.3	26	田舎館村	90.1	21
23	板柳町	0.247	23	藤崎町	13.5	25	おいらせ町	90.7	29
24	三戸町	0.237	24	青森市	13.8	18	十和田市	90.9	22
25	つがる市	0.232	25	おいらせ町	13.8	20	深浦町	90.9	23
26	鶴田町	0.232	26	佐井村	14.0	28	青森市	91.1	26
27	平内町	0.212	27	五戸町	14.1	33	田子町	91.3	18
28	横浜町	0.210	28	深浦町	14.3	29	今別町	91.6	31
29	大鰐町	0.207	29	三戸町	14.3	30	三沢市	92.1	27
30	中泊町	0.189	30	五所川原市	14.5	32	七戸町	93.1	28
31	鱒ヶ沢町	0.181	31	外ヶ浜町	14.8	21	階上町	93.2	36
32	田子町	0.179	32	平川市	14.9	27	弘前市	93.8	32
33	外ヶ浜町	0.172	33	風間浦村	15.8	31	野辺地町	94.8	30
34	蓬田村	0.158	34	今別町	16.9	36	鶴田町	95.0	33
35	深浦町	0.152	35	むつ市	17.3	34	外ヶ浜町	95.6	34
36	今別町	0.144	36	田舎館村	17.5	35	むつ市	96.6	39
37	新郷村	0.120	37	鱒ヶ沢町	18.5	37	五所川原市	96.9	37
38	佐井村	0.110	38	東通村	21.3	38	鱒ヶ沢町	97.5	35
39	風間浦村	0.095	39	黒石市	22.4	39	黒石市	100.8	38
40	西目屋村	0.085	40	大鰐町	22.4	40	大間町	104.4	40

財政力指数とは？

市町村のふところ具合を表すもので「1」を超える場合には、国から援助（普通交付税といい、国の税金の一部を収入が不足する自治体に割り振りするもの）が無くなります。また、数字が大きいほど余裕があることとなります。

実質公債費比率とは？

市町村の借金の返済額の財政負担の度合いを示すもので率の低い方が財政負担が低いこととなります。この比率が18%未満の自治体は起債の発行に関し協議団体として自由に発行できるのに対し、18%以上の自治体は許可団体として県の許可が必要となります。また、25%を超えると原則として起債の発行が制限されます。

経常収支比率とは？

市町村の財政構造の弾力性を判断するための指標で、総支出のうち標準的な一定水準の行政サービスを行うため、常に必要とする経費（人件費や公債費、扶助費等）の割合です。指数が低い方がそれだけ余裕があり、新たなサービスをはじめたり、臨時の出費に対応できるということになります。